

# 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：松谷春敏

事業名	都市計画道路補助第30号線		事業区分	街路	事業主体	品川区・目黒区
起終点	自：東京都品川区小山六丁目 至：東京都目黒区目黒本町五丁目				延長	0.238km
事業概要	都市計画道路補助第30号線は、東急目黒線立体交差化に併せて新設する駅前広場から補助46号線を結ぶ延長約0.2kmの2車線道路であり、交通拠点として利便性の向上や、まちの活性化を図るうえで重要な路線である。					
H9年度事業化	S21年度都市計画決定 (H6年度変更)	H10年度用地着手	H19年度工事着手			
全体事業費	55億円		事業進捗率	57%	供用済延長	0km
計画交通量	7,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 4.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 21/55億円 事業費：20/54億円 維持管理費：0.43/0.43億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 89/89億円 走行時間短縮便益：86/86億円 走行経費減少便益：3.2/3.2億円 交通事故減少便益：0.13/0.13億円	基準年 平成19年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生（立体交差事業と併せて駅前広場・補助30号線を整備することにより円滑な交通処理が行なわれるとともにまちの活性化が図られる）</li> <li>災害への備え（災害時の避難路及び延焼遮断帯を形成し防災性の向上を図られる）他9項目に該当</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	目蒲線沿道まちづくり協議会より、補助30号線の早期完成を目指し整備事業の促進を要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	東急目黒線の地下化に伴って、交通拠点として駅前広場の整備、広場に繋がる補助線街路第30号線の整備が早急に必要となっている。また、補助30号線が接続する補助46号も優先整備路線に指定されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地補償交渉が一部において難航しているが、工事着手しており駅前広場については平成20年度に完成予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	鉄道事業者、電線類管理者、交通管理者との調整も順調に進んでおり、未取得用地については早期解決に向けて重点的に進めており、平成20年度までに取得予定である。					
施設の構造や工法の変更等	VEの検討や新技術の積極的活用など、さらなるコスト縮減に努めている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。